令和３年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

令和3年4月に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査の目的は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の教育活動に役立てていくことです。飯舘村教育委員会では、調査結果から子どもたちの良さや課題を把握し、実効性のあるPDCAサイクルで確かな学力を育むことをめざします。

● 教科に関する調査の結果から ●

教 科	良くできているところ	課題となっているところ
６年国語	文章全体の構成を捉える。文章内容の中心を把握する。	目的や意図に応じた効果的な話し方と資料の使い方。
６年算数	図形構成の要素に着目し面積を求める。	数と計算領域。文章の場面から関係を捉えて立式する。

教 科	良くできているところ	課題となっているところ
９年国語	相手や場に応じて敬語を適切に使う。文章構成の工夫を考える。	文脈の中における語句の意味を理解する。伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。
９年算数	整式の加減法の計算。度数分布を表現するグラフを読み取る。	グラフから相対度数の必要性と意味の理解する。

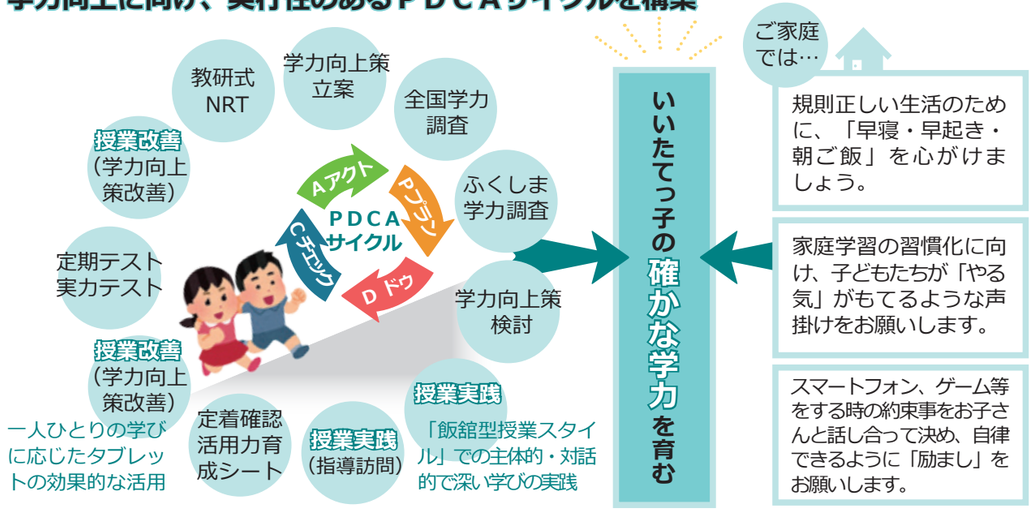
● 児童・生徒質問紙調査の結果から ●

関連項目	良くできているところ	課題となっているところ
学校生活関連	・困っている人を進んで助ける ・各教科に対する関心　・新聞をよく読む	・読書時間 ・難しい事への挑戦 ・自分の思いを言葉で表す
家庭生活関連	・自分で計画を立てて学習すること ・規則正しい生活	

● 「教科に関する調査結果」と「児童・生徒質問紙」とのクロス集計から ●

関連項目	「教科に関する調査結果」と「児童・生徒質問紙」とのクロス集計から
学習習慣	・自分で計画を立てて学習している子は正答率が高い傾向が見られる。 ・友達の話や意見を最後まで聞くことができる子は正答率が高い傾向にある。
生活習慣	・規則正しい生活を実践できている子は正答率が高い傾向にある。 ・スマートフォン等の使い方について約束を守っている子は正答率が高い傾向にある。

学力向上に向け、実行性のあるＰＤＣＡサイクルを構築



10月10日は「転倒の日」　あなたは大丈夫？高齢者に多い転倒・骨折

介護が必要になる原因の第4位が転倒・骨折です。＊1特に高齢の方では転倒・骨折により寝たきりになる可能性が大きくなるので注意が必要です。

高齢の方が転倒・骨折しやすい主な原因として、①筋力低下、②骨が脆くなっている事の2つがあります。転倒・骨折予防の為に、次の取り組みをぜひ生活に取り入れてみましょう。

＊1厚生労働省平成28年度国民生活基礎調査

運　動

年齢を重ねると、筋力やバランス能力等の運動機能が少しずつ低下していきます。身体を支える筋力が低下すれば「立つ」「歩く」「階段を上る」等の基本的な生活動作が困難になります。バランス能力が衰えればふらついたりつまずいたりしやすくなります。

普段の生活の中に運動を取り入れ、運動機能を低下させない事が大切です。

〈 運動の取り組み例 〉
- 散歩
- 階段の上り下り
- 机や椅子等を支えに片足立ち（１分間を１日に２～３回）

食　事

高齢の方はごはんとお漬物のみ等、簡単に済ませてしまう傾向があります。食事は1日3食バランスよく食べる事が大切です。特に骨を強くする為には、カルシウム、ビタミンD、ビタミンKを積極的に摂りましょう。

栄養素	働　き	多く含まれる食品
カルシウム	骨を強くします	牛乳、ヨーグルト、小魚、豆腐等の豆製品
ビタミンD	カルシウムを効率よく腸管から吸収させます	鮭、秋刀魚、干ししいたけ、きくらげ
ビタミンK	カルシウムを効率よく骨に沈着させます	納豆、ほうれん草、小松菜

転ばない環境づくり

転倒は、段差がある場所、暗い場所、濡れている場所で起こりやすくなっています。環境は工夫で改善する事が出来ますので、住み慣れた自宅であっても転倒予防の為にお家の中を見直してみましょう。

リビングで

- 滑りにくい室内履きにする。
- 床や階段に物を置かない。
- 電気コードはまとめる。
- 絨毯等の小さな段差をなくす。
- 明るい照明にする。
- 滑り止めマットを敷く。

階段で

- 階段は１段１段慎重に上り下り。
- 手すりの使用も検討を。
- 廊下に常夜灯を設置する。
- 滑りやすいスリッパは使用しない。

浴室で

- 手すりや踏み台を使用する。
- 石鹸やシャンプーの使用後は床をよく流し乾かす。

庭の木で

- 一人での作業は避け複数での作業を。
- 作業する前に周囲に声がけを。
- 周囲の人は時々作業者の確認をする。